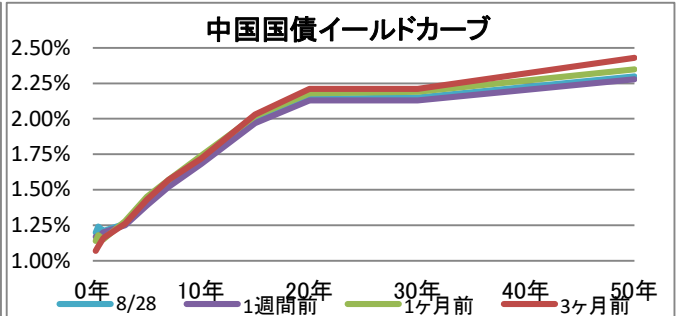
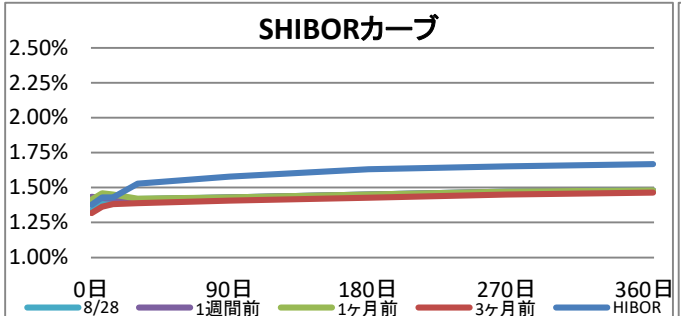


1. 市場概況

基準レート		2026/8/28	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.7811	-0.0006
	JPY/CNY	4.2428	-0.0088
SHIBOR	3M	1.4300%	+0.0000%
国債利回り	10年	1.69%	+0.01%
上海総合指数		3,952.18	+69.77



(1) 概況

国際金融市場は、中東情勢、大手半導体企業決算や米ジャクソンホール会議等を材料に、行ってこいの相場展開となった。中東情勢は依然として先行き不透明ながら戦闘拡大リスクは限定的で機雷除去完了等により原油価格が落ち着きを取り戻し、債券市場ではジャクソンホール会議を控えた買い戻しも入り、株式市場も大手半導体の決算を好感して反発していたものの、注目されたジャクソンホール会議でのウォーシュFRB議長の発言が予想外にタカ派的であったことから、債券、株式ともに上げ幅を縮小し、外為市場ではドルが反発し、金は反落し、ビットコインは上げ幅を縮小する展開。

中国金融市場では、国内の材料が限定的となる中、週末の米ジャクソンホール会議を控えて債券市場は様子見となり、株式市場は米半導体大手の決算を好感して反発し、外為市場では海外市場のドル安一服や中国人民銀行の元高抑制姿勢維持により、1ドル＝6.72台前半での小幅な値動きに終始。

中国では、李強総理が国务院常务会议を主宰し、次世代通信網構築の統括的な推進や企業の未払金解消に向けた取り組み加速の必要性等を指摘し、財政部・藍部長は、地方財政局を含む財政部内に対して財政の科学的管理推進、より積極的な財政政策の着実な実施、財政のカウンターシクリカルな調整機能の発揮等の方針を表明し、同部は中国人民銀行と国家金融監督総局と連名で「財政・金融協調による内需促進政策の更なる推進に関する通知」を公表し、中小零細企業向け運転資金融資や個人向けクレジットカード分割払いへの利子補填政策の対象拡大等の措置を決定し、同部・廖岷副部长は、中国人民銀行や金融当局等との政策協調を更に強化する方針を示した。中国金融監督総局は、中国人民銀行と「不動産開発新モデル構築を加速するための不動産信用管理改革改善に関する意見」と不動産関連の貸付や信託業務に関する5つの法令を發布、証監会も「資本市場による不動産発展新モデル構築支援に関する意見」を発表し、低迷する不動産市場の支援策を強化。中国人民銀行・陸副行長は、中国決済フォーラムで香港とのクロスボーダー「決済通」の安定的運営のほか、アラブ首長国連邦等の中東地域との決済インフラの相互接続を進めている点を紹介。なお、中国広州市裁判所は、恒大集団の不動産子会社の破産清算申請を受理したと発表。

(2) 金融市場調整

中国人民銀行は、1wkリバースオペ期日950億元、MLF期日6,000億元に対して、1wkリバースオペ10,885億元、翌日物リバースオペ3,330億元、MLF5,000億元を実施し、12,265億元を供給。

(3) 主な経済指標

・工業部門利益（7月）は、+11.2%（6月、+15.1%）と、高水準ながら伸びが鈍化。製造業は、輸出に関連するコンピューター・通信・その他電子設備関連や石炭採掘等が引き続き高い伸びを維持する一方、内需関連の自動車や家具が大幅な前年割れとなり、電力関連がマイナス幅を拡大し、全体を押し下げた。

2. 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.3390%	1.3400%	1.3519%	
1W	1.3870%	1.2400%	1.4174%	1.3800%
2W	1.4100%	1.4200%	1.4331%	1.3900%
1M	1.4170%	1.4300%	1.5500%	1.4400%
3M	1.4300%	1.4300%	1.5500%	1.4400%
6M	1.4500%	1.7500%	1.5100%	1.4700%
9M	1.4700%			1.4800%
12M	1.4800%	1.7300%		1.4900%

中国人民銀行は、週初から資金供給を積極化し、週後半には翌日物オペでの供給金額を減額調整しつつ資金供給を続けることで、金利水準の安定を実現。ターム物の金利水準にも変化はなく、1カ月は1.4%台半ばでの出会い。

NCD市場の金利水準も概ね変化なく、ターム物の金利水準は年内が1.4%台前半、年明け以降が1.4%台後半で取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	3.65%	3.67%
1W	3.72%	3.75%
1M	3.82%	3.85%
3M	3.85%	3.90%
6M	4.00%	4.10%
12M	4.05%	4.15%

中国国内市場では、短期の資金需給は安定しているものの、ターム物の出し手が引き続き限定的であることに変わりなく、ターム物は1カ月が3.8%台半ば、3カ月が3.9%前後で出合っている。

3.人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.20%		1.41%	1.45%	1.49%
6M	1.24%		1.45%	1.49%	1.54%
1Y	1.21%	1.28%	1.48%	1.52%	1.59%
3Y	1.26%	1.33%	1.55%	1.63%	1.73%
5Y	1.41%	1.49%	1.59%	1.74%	1.87%
10Y	1.69%	1.78%	1.97%	2.07%	2.48%

米国債券市場は、ジャクソンホール会議でのウォーシュFRB議長の講演を意識しつつ、中東での戦闘激化への懸念が後退して原油価格が下落に転じたこと等から買い戻しにより利回り低下が進んでいたものの、注目されたウォーシュ議長の講演が予想外にタカ派的な内容となったことから上昇幅を大幅に縮小。

中国債券市場は、国内資金需要の低迷が続いているものの、上値余地も限定的であることに変わりなく、方向感のない小幅な値動きに終始。イールドカーブも概ね変化なく、クレジットスプレッドにも変化はなかった。

この結果、10年米国国債利回りは4.72%（前週末比-1p）への小幅な低下に、10年中国国債利回りは1.69%（同+1bp）への小幅な上昇に、それぞれ転じたことから、利回り差は303bp（同-2bp）へと縮小に転じている。

4.先物為替市場

	USD / CNY
1M	-170.0 / -169.0
3M	-424.0 / -423.0
6M	-863.0 / -860.0
9M	-1,319.0 / -1,315.0
12M	-1,775.0 / -1,773.0

対ドル基準レートは6.7811と前週末比-6pipsのドル安元高、対円基準レートは4.2428と同-88pipsの円安元高と、対ドル基準レートは、2023年2月以来の元高水準ながら、市場実勢比では大幅な元安水準での設定が続いており、市場での元高圧力を一段と牽制。

中国国内市場では、中国人民銀行が実勢比元安水準での基準レート設定を続けていることにより下落余地が拡大する中、概ね前週末同水準の1ドル＝6.72台で取引が始まり、月末のドル需要と中国人民銀行の基準レート設定が下値を支える格好となり、1ドル＝6.72台での小幅な値動きに終始。

先物は、ジャクソンホール会議を控えて米中金利差に変化はなく、直物市場も小幅な値動きだったことから、先物のディスカウント幅にもほぼ変化はなく、1年物は3週連続で-1,700台後半での小幅な値動きに終始。

5.金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.44%		1.42%
6M	1.43%	1.47%	1.42%
9M	1.43%	1.47%	1.42%
1Y	1.43%	1.47%	1.41%
3Y	1.45%	1.49%	1.46%
5Y	1.52%	1.57%	
7Y	1.56%	1.63%	
10Y	1.63%	1.71%	

金利スワップ市場は、債券市場の値動きが限定的な状況が続いたことから、スワップレートも概ね前週末の水準での小幅な値動きとなり、スワップスプレッドも概ね変化なかった。

6.その他（週末に公表された経済指標等）

- ・トランプ大統領は、ベネズエラでの石油権益確保に関する協定についてSNSに投稿し、ベネズエラのロドリゲス暫定大統領が追認。ただし、ベネズエラ国内での反発に関する報道も。
- ・米国がイランの機雷設置阻止を目的にミサイル発射施設を攻撃。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入